



筒井池の水門跡

富田支所東側の筒井池(紅屋池)は、かつて本照寺の北から東側一帯に広がる大きな池でした。農業用溜池として利用されてきましたが、周囲の宅地化が進んだことで役目を終え、昭和40年代に南の一部を残して埋め立てられ、公園などに変わりました。



「富田東岡宿絵図」江戸時代 個人蔵

筒井池の南東隅には、かつて「ドンド」と呼ばれる水門と水路があり、そこから南の田へ水を供給していました。現在、南の橋の下を流れる水路はその名残です。ドンドの東には樋門(ひもん)もあり、久保町などへの水量を調節していました。

平成 26 年 3 月 高槻市教育委員会



筒井池の水門

富田支所東側の筒井池(紅屋池)は、かつて本照寺北から東一帯に広がる大きな池でした。農業用溜池として利用されて来ましたが、周囲の宅地化が進んだことで役目を終え、昭和40年代に南の一部を残して埋め立てられ、公園などに変わりました。

筒井池の南東隅には、かつて「ドンド」と呼ばれる水門と水路があり、そこから南の田へ水を供給していました。現在、南の橋の下を流れる水路はその名残です。ドンドの東には樋門(ひもん)もあり、久保町などへの水量を調節していました。

平成 26 年 3 月 高槻市教育委員会

ドンド 【闖々】 推定では江戸時代末期ごろ、水門の管理者が水の流れる音により称したと伝えられています。

※01 筒井池に合った水門跡で久保町(窪町)から水を流した。

ここから樋門があり、水の深さにより水量を調整した。ここからの水路岡の東の崖に沿い、富田に西の田に潤し柳川に流れていた。

※02 筒井池の南東隅には、「ドンド」と呼ばれる水門と水路があり、そこから南の田へ水を供給していました。現在、南の橋の下を流れる水路はその名残です。

※03 現在水門後の水路は、暗渠になっています。その暗渠の水路をたどってみませんか。新たな発見があると思います。

ドンドの東には樋門もあり、久保町などへの水量を調節していました。